



平成28年7月6日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役執行役員社長 大野 利美知
(東証第一部・コード番号 2796)
問 合 せ 先 専務取締役執行役員 秋山 昌之
(TEL. 03-3362-7130)

平成28年5月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年4月12日に公表しました平成28年5月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成28年5月期通期連結業績予想数値の修正 (平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 48,500	百万円 975	百万円 755	百万円 515	円 銭 57.18
今回修正予想 (B)	48,511	811	653	380	42.19
増減額 (B-A)	11	△164	△102	△135	
増減率 (%)	0.0	△16.8	△13.5	△26.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年5月期)	39,506	1,143	997	227	25.31

2. 修正の理由

売上高につきましては、概ね計画どおり推移いたしました。

一方で利益面につきましては、薬剤師に係る人件費関連費用において想定を大きく超過したことが営業利益の未達となった主たる要因であります。平成28年5月期第4四半期における人件費関連予算は、前回の業績予想修正時直前時点における人件費関連費用を勘案しつつ再設定いたしました。業務拡大への対応や本年4月の調剤報酬改定を受け既存社員の異動抑制を優先したことにより派遣社員(薬剤師)の雇用を増加させたことで、予算を大幅に上回ることとなりました。また、技術料収入の予算未達及び新卒社員のリクルート関連費用の予算超過等もその要因であります。このように営業利益が未達となったことにより経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も減少することとなりました。なお、派遣社員に係る費用は本年4月をピークに減少しております。

上記事項が主な要因となり前回の業績予想数値を下回ることとなりましたので、平成28年5月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の決算調整等により予想数値と異なる場合があります。

以 上